

# 英語ライティングB Writing B

素養科目 1、2年/後期 1単位 選択科目

科目責任者 林 弘美 (英語・英語学)

授業担当者 A組：田沢 恭子、B組：林 弘美、C組：竹内 典子

## ■教育目的 (各クラス共通)

日常的な手紙や E-mail の書き方から英文エッセイまで、文法、語彙の増強、パラグラフライティングなど総合的な英語作文能力を養う。

## ■学習到達目標 (各クラス共通)

1. 英語の文章 (段落) 構成に関する知識を身につけ、論理的な展開の英文エッセイを作成できるようにする。
2. E-mail や Fax、および、英文の手紙等に特有の形式を習得する。
3. 文法、語彙・語法等知識の確認を行い、できるだけわかりやすい英文の作成方法を身につける。

## ■授業内容

### A組 田沢 恭子

情報発信および自己表現の手段として英文を作成する能力の養成をめざします。授業では、モデル英文の読解、文章展開パターンの解説、文法事項・語彙の確認、問題演習、英文作成演習などを行います。授業時間内外の英文作成課題を通じて実践力を養います。

**準備学習 (予習・復習)：**予習：原則として 1 回の授業で教科書 1 ユニットずつ進むので、次に扱うユニット全体に目を通してください。／復習：授業中の解説や演習内容を踏まえて教科書を見直してください。授業時間外の課題が出されたときは、指示に従って取り組んでください。

**成績評価方法：**期末試験 (50%)、課題 (50%) で総合評価します。

**教科書：**『英語で書いてみよう [改訂版]』(Can't Stop Writing [revised]) 宮田 学・Joseph Stavoy 著 (三修社)

### B組 林 弘美

下記テキストにより、英文におけるパラグラフの構造を理解し、より良いパラグラフ構成を備えた英文エッセイを作成することを目指す。併せて、英語の文法事項・語彙を確認し、また語構成について学ぶことにより語彙力の増強にもつなげていく。(テキスト最後の 2 章分ではプレゼンテーションにも取り組むことになっている。ライティングの授業であるため、授業内にプレゼンテーションを行うわけではないが、プレゼンテーションの手法を学ぶことにより効果的な英文作成につなげることを目指す。)

毎回、授業の前半では、テキストに基づいた学習を行う。授業の後半では、英文エッセイに関する課題に取り組み、授業時間内、あるいは、翌週までにその課題を提出することを求める。(この課題は、添削した上で、翌週に返却する。)

さらに、学期の後半に向けて、4 段落以上から構成される英文エッセイを、パソコンで英文ワープロソフトを使用して作成することを求める。そのため、各自が適切にパソコンを使用できるかどうか確認し、必要があれば授業にノートパソコンを持参してもらうことにする。また、英文エッセイのテーマとしては、指定する場合と各自に自由に考えてもらう場合がある。各学生の主体的な取り組みを望む。

**準備学習 (予習・復習)：**予習：テキストに関しては予習は必要ないが、学期中に 1 度、また、期末試験として、計 2 回、英文エッセイを作成することを課題とする。英文エッセイのアウトラインの作成、及び、エッセイ本文の作成と推敲は各自が授業時以外に行うことになる。／復習：添削された課題やエッセイを見直し、自分の英文の特徴を認識することでより良い英文作成を目指すようにする。

**成績評価方法：**期末試験 (70%)、レポート (30%) で総合評価する。

**教科書：**『Genre Approach to Paragraph Writing』杉田 由仁・Richard R. Caraker 著 (成美堂)

**参考書：**『要点明解アルファ英文法』 (研究社)

### C組 竹内 典子

●パラグラフの構成と展開方法を理解し、テーマに適する展開方法を選び作文の練習をする。

●テキストとプリントを使って、基本動詞・前置詞の意味と使い方に習熟し、ネイティブの発想に近い英語表現の実践を目指す。

●テキストのトピックを読み、内容と文法事項を確認したうえでモデルとして示された表現を用いて、大学生生活・クラブ活動・アルバイトなどについて短い英作文を行う。

●各自の個性、生活、人間性を伝えることのできる英語表現を試み、自己紹介、留学や就職などにおける自己アピール文を英語で書く。英文手紙、英文履歴書、英文のメールの書き方を学ぶ。

●パラグラフの展開方法に基づいて、各自興味のある事柄・人物・時事問題等について説明し、賛否を述べる英文を書く。

これらをセメスターを通しての課題とし、英文ワープロの基本にならって、パソコンで仕上げる。

**準備学習 (予習・復習)：**予習：授業予定の章の英文を読み、分からない単語を辞書などで調べる。練習問題の英作文を考え書いておく。／復習：勉強した章をもう一度読み、英作文を見直し文法を確認する。

**成績評価方法：**期末試験 (50%)、レポート (40%)、小英作文 (10%) で総合評価する。

教科書：『Read Better to Write Better』 富岡 龍明 他 著 (金星堂)